

# 毛勝三山の盟主から後立山・劔の絶景 毛勝山

実施日 2024年9月6日(金)～8日(土)  
 天候 曇り時々薄日  
 リーダー 瀧澤 きよの  
 参加者 宇野輝代、瀧澤きよの、  
 峯川弘子 計3名  
 費用 JR往復17,150円(東京駅起算)あいの風とやま鉄道600円 @7,800円  
 タイム 片貝山荘(5:22)登山口(5:35)1479m三角点(8:42-8:50)【宇野・峯川】モアセ山通過(12:35)毛勝山山頂(14:08-14:15)モモアセ山通過(15:46)1479m三角点(17:30)登山口(20:00)  
 【瀧澤】1769m途中(11:42)1479m三角点(16:00)毛勝山登山口(18:30)

## ・毛勝山登山口ー尾根上



登山口からいきなりの急登、トラロープ、四つん這いが1時間以上続く。

曇りでも湿度Maxで汗が大量噴射。全員で寝坊して出発1時間遅れ、下山はたぶんここを日没後にヘッデンで降りることになるね、と、3人で猛省(笑)

## ・尾根上ー1479m三角点

傾斜が緩やかになり、タクシーの運転手さんが言っていた通り、屋久島のような樹齢の永い面白い形をした杉の大木群に癒



されるが登りは続く。張り出している大木の根や倒木で気は抜けない。

・1479m三角点ーモモアセ山  
三角点で小休止後、ピークのアップダウン、相変わらずの湿度で大量の汗、倒木や木の根の段差が増す中、瀧澤Lがペースダウン、脚がつり始めたようだ。大丈夫かな、心配だが、瀧澤Lの判断、指示で先行することになった。



後方を確認しながら進むが徐々に間が離れていく。12時近くようやくモモアセ山手前、タイムアップの不安がよぎる。すると



今朝登山口で会った3人グループが下山してきた、やはり後続の心配

をしてくれて、毛勝山山頂直下のキツイ登下降の状況を聞き、電波のない山中、後続の瀧澤Lに伝言をお願いして進む。

## ・モモアセ山ー毛勝山山頂

モモアセ山前後がクワガタ池など名前が付いた池塘があり、このコース唯一の歩きやすい道だったが、目の前に現れた毛勝山に、



まだこんなに遠いのかと心が折れる。今度は峯川が吐き気を感じバテ気味、雷鳥に2度遭遇したが写真を撮る気力もない。宇野



さんの励ましののおかげでなんとか直下の激登りを克服、2人

で山頂に立つことができた。

#### ・毛勝山山頂－登山口

下山は日没、7時間はかかるかもしれない。宇野さんのハイピッチで先行してもらい、そのペースになるべく離れないよう急ぎ目下山。途中、石の下にあった瀧澤Lの「下山する」の紙メモを見つけて無事を確認、

さすがだ！



ようやく1479m三角点に到着後、登山口まであと1時間30分の地点で日没、ヘッドンのライトを頼りに今朝激登りした傾斜を慎重に激下り。トラロープ、ヘッドンに集まる虫、夜になっても噴き出す大量の汗と格闘しながら下る、すると暗闇前方にヘッドンのライトが、、「おい！」リーダーは登山口で私達を心配して待っていてくれた、再会に3人で大喜びした！！

いや、いや、いや、熊の恐怖とか。この暗闇の中、1人で待つ方が怖くありませんかー！？

登頂より全員無事に下山できたことの喜びの方が大きいと実感した山でした、ありがとうございました。おつかれ生、じゃなくておつかれ山でしたー！！

(記&写真・峯川 弘子)

#### 【瀧澤L】

毛勝山からの劔岳、立山の絶景は見られませんでした。毛勝山からの雪景、北アルプスから親不知の超ロングコースの絶景は最高でした。全員無事下山できた事に感謝します。本当にありがとうございます。

#### 【宇野】

アクセスが悪く、行程も長い難関の山なので無理かと思っておりましたが、滝澤リーダーの催行のお陰で登頂することができました。山頂はガスで見晴らしは望めませんでした。途中後立山連峰の雄大な姿が眺められ奥深い山域を堪能しました。ありがとうございました。ただリーダーが体調不良で山頂に立てなかったのは本当に残念でした。

